



【2007年度(第7回)XMLコンソーシアムWeek】

## SOA部会紹介 & 2007年度活動総括

2008年6月4日(水)

SOA部会リーダー

日本アイ・ビー・エム(株) 日力 俊彦

Copyright © XMLコンソーシアム 2008 All rights reserved.

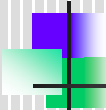


## はじめに



SOAは、**ビジネス**そして**テクノロジー**双方の観点から  
とても広い領域を取り扱います。

皆様は、ご自身の言葉でSOAをキチンと語れますか？

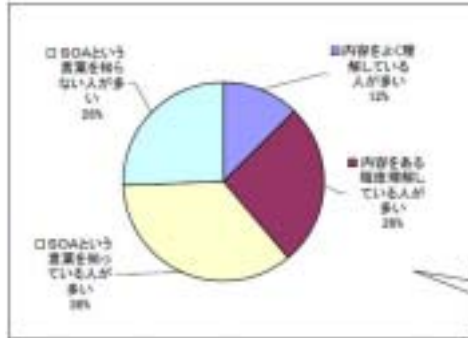


# SOAをキチンと語れますか？



XML Consortium

- XMLコンソーシアムによるアンケート調査結果(2008年2月発表)
  - 調査期間：2007年11月20日～同年12月5日
  - 回答数：122会員
  - 回答率：72% ( 回答：122会員 / 会員数：169会員 )

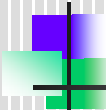


XMLコンソーシアム ホームページ  
(<http://www.xmlconsortium.org/>)  
にて参照可能。

前出調査と比べ、「内容をよく理解している人が多い」が7ポイント増加

図1. SOAに関する社内の理解状況

「XMLコンソーシアム会員アンケート結果(2008年2月発表)」より抜粋



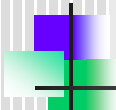
# セッション・アジェンダ



XML Consortium

- SOA部会のご紹介
  - 活動内容
  - 活動方法
- 2007年度活動成果
- 次年度(2008年度～)へ向けて

昨年度まで「部会紹介セミナー」  
でご紹介してきた内容。



# SOA部会



XML Consortium

## ■ 背景

- 2004年度より、XMLコンソーシアムにて活動を開始
- 前身は、『テクノロジー部会WebサービスWG』

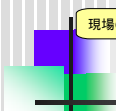
XMLコンソーシアム → 2001年4月から

## ■ 目的

- 抽象的なSOAの概念から具体的なビジネス面でのメリット、システム設計/実装の方針、Webサービスの有効活用方法等を導き出す。
- 得られた知見や情報を外部に発信することで、**SOAやWebサービスの普及・発展に貢献**する。

2007年度のテーマは『体感！SOAによる設計&開発』

…でした。



現場の…

# SOAに対する理解



XML Consortium

- SOAの考え方(**コンセプト**)は浸透してきた(かな…)
- 現実的な構築手法は未だ確立されていない

例えば…SOA化する為には特別な**開発プロセス**が必要？

- サービス指向アーキテクチャーであるからには、**"サービス"**が重要(なんでしょ?)

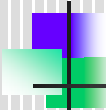
- どのようにして発見(抽出)/定義するか？
- どのようにして実装するか？

例えば…**サービスの設計/開発手法**が解らない等

- SOAでは**ビジネス・モデリング**も重要(なんだよね?)

- ビジネス上の目標/課題に対するトレーサビリティ

例えば…**サービスの目的**が明確にならない等



# あるアンケート調査結果



XML Consortium

- XMLコンソーシアムによるアンケート調査結果(2008年2月発表)
  - 調査期間：2007年11月20日～同年12月5日
  - 回答数：122会員
  - 回答率：72% ( 122会員 / 169会員 )

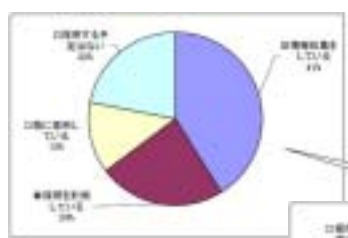


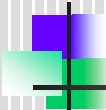
図2. SOAに対する採用状況

XMLコンソーシアム会員アンケート結果 (2008年2月発表)より抜粋

XMLコンソーシアム ホームページ (<http://www.xmlconsortium.org/>)にて参照可能。



図3. ユーザー企業における取り組み状況



# このような方はいらっしゃいませんか？



XML Consortium

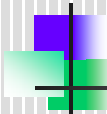
- どこから取り組めば(何から始めれば)いいのでしょうか？
- これまでのものと何が違うのですか？
- BPMって何ですか？
- サービスって？よく分かりません・・・
- 要素技術についてスタディーしたいです！
- ベスト・プラクティスって？
- 設計や実装のパターンを知りたいです！
- 事例ってありますか？

……等々

SOAって本当に使えるの？



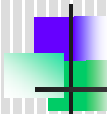
是非、部会へご参加下さい！！



## 活動方法(1/2)



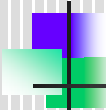
- 月例ミーティングでの**F2F**のディスカッション
  - 2007年度実績: 毎月1回 / 第3木曜日
- ビジネス・イノベーション研究部会とのコラボレーション  
(ミーティングの同日開催、メンバー交流)
- **メーリングリスト**による日々の情報交換、ディスカッション
- 参加メンバー個人による個別テーマや事例の調査
  - 『**ポジショニング・ペーパー**』による検討 → **WGの結成**
- Webページ、雑誌記事、出版等外部向けコンテンツの作成
  - 2007年度実績
    - 雑誌記事: (株)リックテレコム刊『SOA研究 Vol.1』  
特集記事(SOA導入進捗度モデル)への寄稿
- XMLコンソーシアム他部会等との協調による技術の普及推進
- XMLコンソーシアムDay、XMLコンソーシアムWeekでの活動報告



## 活動方法(2/2)



- 2008年度重点施策
  - 2007年度の施策の継続
  - SaaSとSOAの関連を紐解き、SaaSビジネスにおけるSOAとの関連 / SOAの適用効果についても検討を行う
  - 実経験(ハンズオン『体感! SOAによる設計 & 開発』)を継続し、SOAを最新動向を体感する
- 次年度新規で取り上げ予定のトピック
  - EDA(特にReal-time Event Processing)
  - Cloud Computing
  - WOA(Web Oriented Architecture)
- (参考)2007年度重点施策は・・・
  - SOAの具体的なイメージを開発者 / ユーザーに提示
  - SOAの開発ツールや実行環境が整備されてきた状況に鑑み、SOA開発プロセス(の一部)を実践し、部会での議論を深化する



## 注目すべき技術/トレンド(2008年度)



XML Consortium

### ■ Top 10 Strategic Technologies

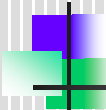
- 米国Gartner社が発表(2007.10.9付)
  - <http://www.gartner.com/it/page.jsp?id=530109>

1. Green IT
2. Unified Communications
3. Business Process Modeling
4. Metadata Management
5. Virtualization 2.0
6. Mashup & Composite Apps
7. Web Platform & WOA
8. Computing Fabric
9. Real World Web
10. Social Software



■ 部会“主”注目技術/トレンド  
■ 部会“副”注目技術/トレンド

(米国Gartner社 2007 プレスリリース “Gartner Identifies the Top 10 Strategic Technologies for 2008” より引用)

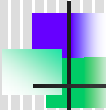


## ある日のSOA部会内容(例)



XML Consortium

- 2007年X月XX日(X) 13:30 - 17:30 (or 18:00)
- 情報共有セッション
  - 外部カンファレンス参加報告
    - Gartner SOA Summit 2007
    - IBM IMPACT 2007
    - MDBT (Model Driven Business Transformation)
- テクニカル・セッション
  - WS-Transaction V1.1 仕様解説
  - SOA開発プロセスと成果物例
- SOAプロセス開発ハンズオン
  - ビジネス・コンテキストとビジネス・プロセスを理解する (As-Isモデル)
- その他
  - 今後の活動についてディスカッション
  - 連絡事項(次回の部会日程等)



# 2007年度活動成果



XML Consortium

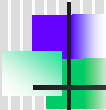
- 2007年度は、以下のWGの立ち上げ、及び活動の実施。
  - SOAサービス設計WG
    - 実際の現場ではどうすればいいの？手順がよく分からないなあ・・・上流から下流までを、シナリオに基づいて手を動かしてみよう！
 

→ セッション#2 SOAサービス分析・設計のツボ
  - SaaS調査研究WG
    - SaaSって何？ASPとどう違うの？SOAという枠組みの中でのポジショニングは？ビジネスとして成立する為の要点って何？
 

→ セッション#5 SaaS動向調査
  - SOAクライアントWG
    - 利用者にとって使いやすい、嬉しい、クライアントってどんなもの？そのベースとなる技術にはどんなものがあるの？
 

→ セッション#4 SOAにおける利用者主体のクライアント・システム
  - SOA標準技術調査WG
    - SOAが扱う標準技術って多くない？今、どうなっているの？どう使い分ければいいのか？
  - SOA普及の障壁WG
    - SOAって、言われている程は普及していないんじゃない？だとしたら、何故？何が足りないの？どうすればいいの？
 

→ セッション#3 SOA普及への条件



# 次年度へ向けて

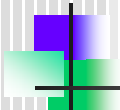


XML Consortium

- 次年度(2008年6月～)以降の活動計画概要
  - 現時点における、次年度以降の活動計画の概要は、以下の通り。

SOA部会 2008～2009年度活動計画(案)		フェーズ
2008年度	各種最新技術動向の調査 - EDA、Cloud Computing (Services)、BPM、WOAに関する技術調査 - WS-*仕様(特にWs-Transaction)に関する技術調査(ハンスオン含む)	1
	BI研との協業による、SOAサービス設計&開発実践(ハンスオン)	3
	SOAサービス管理(SOAガバナンス含む)に関する検討	1
	活動成果&知見の整理	4
	SOAサービス設計&開発ハンスオン<継続> - 2008年度知見の取込みによる洗練 SOAリファレンス・アーキテクチャ(及びコード)の開発 - 上記 及び既存ベストプラクティスを参照	3
2009年度下期	これまでの知見総まとめ 最新技術採用の為のリスクヘッジに関するガイド(仮称)作成	4

\* 部会内で今後検討予定.



最後に・・・



次回SOA部会 (2008年度第1回) は・・・

6/19(木) 13:30 - 17:30  
@日本IBM(株) 飯倉事業所 LB01会議室

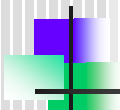
< 部会オリエンテーションを兼ねています。 >

部会へ参加ご希望の方は、まず部会MLへの登録を！

- XMLコンソーシアム事務局 (xmlcons\_staff@fsi.co.jp)宛へメール送付.
- ご連絡頂く内容：
  - 参加希望部会名 (e.g. SOA部会、ビジネスイノベーション研究部会)
  - 貴社名/所属部門名
  - お名前
  - ご連絡先(お電話番号及びメールアドレス)

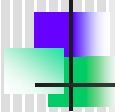
Door is opened for everyone !

どなたでもご参加可能です。

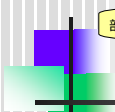


成果発表のセッションを開始します。





## 参考資料



部会参加メンバー個人毎に作成

## ポジショニング・ペーパー (例)



- 昨年からは開始した以下のWG活動を継続。
  - 『(続) サービス設計のBest Practice (仮題)』
    - Web2.0, SaaS 等のEmerging Technologyにより、SOAワールドも様変わりしてきた。
      - 各要素技術/ソリューションとのマッピングが必要。
      - SOA全体を俯瞰できるものが必要
    - 依然として、サービス設計は難しい…と思われる。
      - SOAは、意外と理解されていないのでは…(と、ここ数日感じている…)
    - SOAというネーミングは良くない?
      - BOA(ビジネス指向アーキテクチャー)…?
    - BPEL以外の技術を試したい
      - XPDLとの融合…?
  - SOA部会におけるハンズオンを通じて、新しい知見を発掘してゆきたい。
    - 部会メンバーとのdiscussionを通じて

